

「ふるさと探究」で幻のじゃがいも「デジマ」と出会いました！

11月19日(火)

「総合的な探究の時間」にふるさとの特産品について調べている1年生のチームが、雲仙市のHPに気になる記事を発見！長崎には「デジマ」という品種のじゃがいもがあり、とっても美味しい♡でも栽培が難しいため、今では数件の農家のみが栽培する希少な品種となり、「幻のじゃがいも」と呼ばれている・・・そんな「デジマ」の栽培に取り組む南串山町の「松山太さん」のことが紹介されていました。じゃがいもが大好きな1年生女子5名で結成したチームのメンバーは早速調査開始！

まずは雲仙市役所に電話をして松山さんについて尋ねました。電話は緊張しましたが、親切に対応してもらって嬉しかったです！



私は松山さんに電話をしてインタビューのお願いをしました。お忙しい中、時間を作っていただき本当にありがとうございました。



私たちが代表で、南串山町にある松山さんのじゃがいも畑に行きました。



「デジマ」栽培について貴重な話を聞かせていただいた後、収穫体験にも初挑戦。

強風の吹く寒い日でしたが、松山さんの「デジマ」への情熱に、心の中はポッカポカ！

わたしたちと同じくじゃがいもが大好きな校長先生に「デジマ」をプレゼント！



甘くてほくほくしていてとても美味しかったです。ごちそうさまでした！